

科学研究費補助金（基盤研究（S））事後評価

課題番号	16108003	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	卵子の細胞分化・死滅調整系の解明による次世代型動物発生工学技術の基盤形成	研究代表者 (所属・職)	佐藤 英明（東北大学・大学院農学研究科・教授）

【平成22年度 事後評価結果】

評価	評価基準
	A+ 期待以上の研究の進展があった
○	A 期待どおり研究が進展した
	B 期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C 十分な進展があったとは言い難い
<p>(意見等)</p> <p>5 課題にまとめられた本研究は 30 篇の国際誌に公表されており、高い成果を得たと言える。本研究は動物の生殖生物学に貢献したが、ヒトの生殖医学へ波及的効果については今後の課題といえよう。なおミニブタを用いた体細胞クローンの作出などは当初の目的を十分に達成しているが、ミトコンドリア置換技術など一部の課題については更なる解析が求められる。中間評価で指摘された「研究課題による進展の不均衡」を、その後の研究において期待どおり進展させた点は評価に値する。結果として本研究は、次世代の動物発生工学にとって大きな貢献を行ったといえる。</p>	